

# 電子情報の長期的な保存と利用

国立国会図書館は、電子情報の長期的な保存と利用のための取組を行っています。 [www.ndl.go.jp/jp/aboutus/preservation.html](http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/preservation.html)



国立国会図書館は唯一の納本図書館・保存図書館として、図書及びその他の図書館資料を広く収集し、貴重な文化遺産として保存し、後世に伝えていく役割を担っています。

しかし、現在、収集・保存すべき資料は紙媒体のものに限定されません。CD・DVDやソフトウェアなどの「パッケージ系電子出版物」やインターネット上で流通する情報も含まれるようになりました。

電子情報はコピーが簡単にできるため、簡単に保存できると思われがちです。ところが、実際は多くの課題を抱えています。

- ・紙媒体の寿命とくらべて、記録媒体の寿命が著しく短い。
- ・インターネット情報は消失する可能性が高い。
- ・規格の旧式化により、再生機器の確保・入手が困難になる。
- ・情報の改ざんが容易。
- ・オリジナルであることを保証することが困難。



レコードやビデオテープなど、アナログ媒体の資料も規格の旧式化により再生機器の確保・入手が困難となっています。また、再生方式によっては磨耗や破損などによる記録媒体の劣化が進むため、手遅れにならないうちに情報をデジタル化して電子情報として保存する必要があります。



そこで国立国会図書館では、これらの課題を克服するために次のような調査研究を実施しています。

- 保存媒体と利用環境に関する調査研究
- 長期的に保存するためのシステムに関する調査研究
- 旧式化したファイルの利用方法に関する調査研究



国立国会図書館 関西館電子図書館課

国立国会図書館のホームページ <http://www.ndl.go.jp/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。